

復興支援フォーラムニュース No.29

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先 今野順夫(tkonno67@gmail.com) 中井勝己(024-548-8313)>

なぜ福島で大規模データの収集・公開が必要なのか

—医療経済学からみた独立評価の重要性—

兪 炳匡 YOO, Byung-Kwang (ゆう へいきょう)氏

(米カリフォルニア大学デービス校 医学部公衆衛生学講座准教授、医療政策・経済学)

【紹介文】

福島を含めた日本が、米国やその他の先進諸国のように政府が政策評価に必要なデータを積極的に一般の研究者に公開できれば、福島の震災が健康に及ぼす(短期的・長期的)影響のみならず、復興に関連する法案が経済指標に与える影響まで、様々な手法で実証的に評価することが容易になります。

なぜこのような政府から独立した評価が日本では困難なのか、他国では具体的にどのようなデータが入手可能なのでしょうか。

スタンフォード大学医療政策センター研究員(2004年以降非常勤研究員)、米国厚生省・疾病管理予防センター(CDC)エコノミスト(2004-06年)など、米国の医療政策の現場で調査に携わった兪氏にお聞きします。

疫学的調査を含め政策評価研究に用いられる統計学的方法論は、1990年代以降急速に発展していますが、残念ながら日本の研究者の間ではこれらの方法論が十分に共有されていないという現状についても解説していただきます。(参考『「改革」のための医療経済学』メディカ出版)

●講師略歴

大阪府生まれ。北海道大学医学部卒業後、国立大阪病院で臨床研修。1997年ハーバード大学より修士号(医療政策・管理学)、2002年ジョンス・ホプキンス大学より博士号(PhD, 医療経済学)取得。2006年よりニューヨーク州ロチェスター大学医学部助教授として、医療経済学の研究と教育(大学院生を対象に医療経済学を講義・研究指導)に従事。

2006年7月に『「改革」のための医療経済学』(メディカ出版;「日本経済新聞エコノミストが選ぶ経済・経営書ベスト20冊(2006年)」に選出)を出版。2011年9月より現職。

研究領域は、カリフォルニア(加)州の民間医療保険の規制(規制法案に関連する科学的資料を作成し、加州議会に提出する委員会のメンバーを2012年より務める)、医療従事者(特に看護・介護分野)の需要・供給分析、高齢者介護制度の国際比較研究、大規模感染症時の公共政策(予防接種を含む)の経済評価、プライマリーケアの需要・供給分析、日本の医療保険制度改革、遺伝子スクリーニングを含めた予防医療の経済評価など広範囲にわたる(2012年10月現在)。

☆☆
第26回フォーラム（「除染活動を通し地域経済の復興を目指して」／安斎一男氏）
 でのご意見等（12月21日）

- ★地域の具体像、除染の実態が実によくわかった。地域業界を通じた方の考え方や目配りの仕方がわかって有益であった。(S.I)
- ★上の人の考え方・決断がいかに大事かと思知らされました。決断ができれば、何でもできると思います。「除染作業の最大の敵は環境省」という記事は、今回の講演を聞いて、本当だと思いました。ぜひ試行錯誤ながらも続けてください。(Y.I)
- ★地元が受けるメリットとして、現地を知る作業員が行うことで、実施結果を分析する上でも有効なのではないかと思えます。特に思うように下がらない、下がったものが時間の経過で上がる等、情報の集約・結果が良い結果につなげることができればと考えます。(T.I)
- ★市長の決断により、地元組合（二本松市復興支援事業協同組合）に一括発注され、地域に除染費用を回し、地域の安全安心を住民とともに作っていくという手法は、注目されるべきだ。（育まれるべきである。）二本松市が、新しい地域社会の作り方を手に入れつつあると思いました。（事前・後の線量測定者と工事者が同一は疑問である。）(T.S)
- ★地方自治体における除染事業をすすめる上で、新たなビジネスモデルとして大変貴重な事例であると思いました。(K.F)
- ★除染活動を通じて、地域経済の活性化が図られていることは素晴らしいと思いました。今後、除染以外の分野で復興支援が進むことを期待しております。(Y.S)
- ★もちろん除染は必要だが、一方で膨大な手間と費用を要していることを考えると、今後、どうやって費用対効果をあげていけるか、その辺が大きな課題だと改めて実感しました。(M.N)
- ★除染、施行の方向性、やり方、とても参考になりました。(T.H)
- ★二本松市の取組みは素晴らしいと思いました。ただ、これを福島市や郡山市など大きな地域に広げるには、単純にいけない。その仕組みをどうつくるかが、非常に大きな課題だと思います。(K.S)
- ★現場の実践の話、大変勉強になりました。二本松の様に、除染の仕事を地元の組合で受注して、地元の経済活力につなげる方法で進めようという試みは、大変貴重な取組みだと思います。他市をみても、なかなか、そうはいかない現状です。全市すべての除染の方針で、地元の業者にという市長の政治姿勢と決断がものをいっていると思いました。そして、組合をつくり、運営していくスタッフに恵まれていると思いました。(Y.A)

【予告】☆☆
第28回 「ふくしま復興支援フォーラム」(2013年1月10日(木) 18時30分～)
 テーマ 「福島県における水産物放射能汚染の現状と対応」
 報告者 五十嵐敏氏（福島県水産試験場長）
 会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」 大活動室1

【予告】☆☆
第29回 「ふくしま復興支援フォーラム」(2013年1月22日(火) 18時30分～)
 テーマ 「原発事故と4つの事故調査委員会報告」
 報告者 真木實彦氏（福島大学名誉教授）
 会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」 大活動室1
 ☆☆☆